



卓 話

「クラブ協議会」

会長及び四大奉仕委員長の今期の要旨が発表されました。

西浦 信義 会長報告

基本方針について

四谷も成人式を経て、22年目にあたりますので、いい伝統は残して元気なクラブをつくりたいと考えています。ガバナーによると「貴方から率先して行動をとるように」とのことでした。私としては当クラブの色々な運用を簡素化して魅力のあるクラブにしたいと思います。



さらに、当クラブは本年度に地区協議会をお引き受けしておりますので、小澤ガバナー・浅川ガバナーエレクトご指導の下、廣嶋実行委員長を中心に心を一つにし、ホストを成功させたいと考えています。又、これからの奉仕活動についてはますます自主性を持ち、よき伝統ある活動については継続して行っていきたいと存じます。活動計画について全部で9つほどあげましたが簡単に申し上げます。

1. 簡素で魅力あるクラブをつくる。

RI会長及び小澤ガバナー基本方針を守りつつ当クラブでは簡素で楽しいクラブを目指し、会員と共に歩むロータリークラブを目指したいと考えています。

2. クラブの自主性を持ち運営していきたい。

個々のロータリークラブは、その奉仕活動を選ぶに当たっては、全体的な自主性を有しておりますので、当クラブならではの個性的なロータリークラブにしたいと思っています。ガバナーもおっしゃっていますが伝統にしばられ、体制が同じようになっていくのではなく、全体の運営の趣旨からはずれない程度に、当クラブ独自の運営ができないかと考えています。

3. クラブ創立22年を迎え守るべき事、改革する事。

このクラブも22年目になるので守るところ、改革するところを分けて考えて行きたいということです。22年を迎え細則の見直し等の整備を計りたいと思っています。

4. ロータリーの目的として特に奉仕活動に重点を置く。

ロータリークラブで米山前会長からずっと続いています。奉仕活動は継続してやっていきたいと考えています。先々週でしたがRI会長賞をいただき、この前の会長幹事会でもお褒めの言葉をいただきました。これは名誉あること

で、色々な実践を継続していかないと貰えないものです。中央分区では当クラブだけでしたが、これは米山会長及び皆様会員のお陰であると思います。お褒めの言葉を頂いて大変うれしいと思うとともに、皆様と米山会長、安田幹事に感謝しております。当クラブにしか出来ない奉仕活動とは何か十分に検討し活動運営していきたいと思っています。

5. 会員増強（最低1名）

最低65名、1名の増員がほしいと考えています。この間、会長幹事会の時に説明がありましたが、増員しているクラブは2クラブです。増員の理由の一つとしては女性会員を積極的に勧誘していることが挙げられます。ある程度、当クラブも女性会員がいっぱいいますが、もう少しこの様な方面に目をむけないといけないと感じています。武田会員より2年前にクラブの財政等についての話があり、四谷ロータリークラブを運営して行く為には70名が理想であるとの事でした。しかしながら、1名2名と地道に増やしていく事が活動の中で一番大切なことではないかと考えています。

6. 卓話の充実

当クラブは中央区では下位から3、4番目の出席率です。公式に言われた訳ではないのですが、もう少し出席率を上げる努力をとる事でした。出席率を向上させる為には、やはり卓話が大切ですから、会員にとって例会で為になり、楽しい話の充実を図りたいと思います。既に理事・役員会に於てプログラム委員のみに任せるのではなく、常に理事・役員は最低1名の卓話者の義務として、バラエティーがあり、分野が偏らない卓話にしていきたいと考えています。

7. 経費節減に取り組む。

64、5名で、赤字は避けたいということになると経費節減という話になります。IT委員会の2年にわたる週報等に対する取り組みが実を結びつつありますので、更に節減に向けての取り組みを各委員にお願いしたいと考えています。

又、その他節減に向かうべき諸問題についても理事・役員会においても取り組んでいこうと思います。

8. 地区協議会ホスト役をクラブ全員の協力で成功理に行う

廣嶋さんを実行委員長にお願いしましたが、来年4月12日に約750名の会員を集めて地区協議会があり、椿山荘にて当クラブがホスト役を引き受けることが決定しました。これは今年と違って東京と沖縄一緒の開催になるため、非常に大がかりなものになるかと思われますので、委員長、副委員長、会長幹事を中心に会員全員にご協力をお願いしたいと思います。

9. 新会員のためのオリエンテーションの充実

新会員にとって非常に重要な暖かい歓迎を表す為、入念に立案された新会員オリエンテーション充実を考えていま

す。「会員であることの恩典」「会員としての責務」「奉仕の機会」をポイントに置いていくことが大切であるかと思われま。もちろんクラブ奉仕委員長と米山前会長に協力をお願いしましたが、新入会員が会場に来た時に居心地が悪くならないよう、2、3名のブラザーと呼ばれる方々を中心に、皆さんより細かい指導をお願いします。

大変欲張ったことを申し上げたと思いますが、会長職を地道に誠実にこなしていきたいと考えていますので宜しくお願いいたします。

梶浦 紀子 クラブ奉仕委員長

基本方針はまさにクラブ奉仕です。クラブの会員方の奉仕の心をつくる委員会です。我がクラブには、便宜上、出席、親睦、ニコニコ、ソングリーダー、会員増強、会員選考、プログラム、ロータリー情報、会報等の各委員会が分けてありますが、クラブ奉仕委員会の全員が奉仕活動に協力しあっていく事を目標にしたいと思います。活動計画としては、今期は地区協議会のホストクラブになりますので、これに全会員がお手伝いできる様に準備する。新入会員への早期のオリエンテーションと1年間のサポート体制をつくりたいと思います。又年4回「ロータリーの友」の記事をテーマにした”炉辺”を実施し、その中の1回は奥様にも出席して頂く予定であります。



関根 修 社会奉仕委員長

前年度の実績を重要視し、全事業活動を継続して行きたい。当クラブの活動地域は、近年問題化している少子化・高齢化の影響が顕著に表れてきています。その為にも、青少年に対する教育・育成を目的にした地域社会への奉仕活動をしたと考えています。尚、環境保全部門については委員の意向に従って活動していきたいと考えております。活動計画としては次の通りです。



1. 東京都知事の提唱する「心の東京革命」に参加し、本年はこの運動について全会員に対する啓蒙と理解をしていただき、ヤクルト球団の協力を頂いて小学生を対象とした野球教室を実施する。

2. 四谷中学の生徒に対する体験学習の開催に協力する。この計画は三部門にわけて継続して実施する。

①防災・救急訓練の講習会：四谷消防署と四谷消防団の協力を得て全生徒に対して実施する。

②福祉ボランティアの体験：四谷盲人職能センターの協力により、施設の見学、盲人さんとの懇親会を行い、盲人さんと一緒に四谷の祭礼に参加する。区の福祉活動グループの協力により、身体障害者・老人・児童等の福祉施設に於いて体験学習をしてもらい、その体験発表を実施する。

③俳句の発表会：修学旅行中の体験を俳句で提出してもらい、当クラブの選考による発表会を実施する。

3. 従来から行っている古切手、使用済み各種カードを会員各位から集め寄付を実施する。尚、この活動については、今期は例会時のテーブルに収集箱を置き会員の協力をお願いする。

鯉江 園子 職業奉仕委員長

ロータリー思想の原点となる職業奉仕理念は「He profits most who serves best（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる）」という言葉で表現されています。これは、ロータリーの基本方針として、ロータリー活動の最も重要な目的が職業奉仕にあること。職業奉仕の実践こそ自らの事業を発展させる最大の要素であり、その結果として現れるのが事業と業界全体の職業倫理高揚であることを会員が自覚するために、会員の職業情報の共有と職業奉仕活動の実践を推進することを目的にします。具体的には次の通りです。



1. 会員の各種職業の詳細と職業奉仕活動の情報共有

(1)「私の職業奉仕」を更新し冊子発行をする

2. 正しい職業奉仕の理念について会員の理解を深める

(1)勉強会の開催（職業奉仕理念・四つのテスト・決議23-34 他）

(2)職業奉仕についての有識者や実践者による卓話（特別卓話を含む）

3. 21世紀に通用する職業奉仕の実践方法を再構築する

(1)近い将来予測される地球規模の経済不況によって起こる職業倫理の低下に対する抑止力を考える

4. 中学生の職場体験への協力（青少年育成委員会・社会奉仕委員会との共同活動）

横山 公樹 国際奉仕委員長

次年度、国際奉仕委員長を担当することになりました横山公樹です。国際奉仕には、二つの流れがあると記載されています。一つは、ロータリーの世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進する活動。もう一つは、餓死・貧困・疾病・教育などの人道的な問題に対する国際的な援助活動です。



東京四谷ロータリーとしては、20周年事業として行ったラオスの小学校建設は、まさに国際奉仕の一環であったと思います。次年度も今年度に引き続きフォロー・援助を行っていききたいと思います。

また、4委員会と「対地雷の除去に関する特別委員会」を含めた5委員会も包括することとなっていますので、各委員長の方針をお聞きし協力をして行きたいと思います。

皆様方のご協力よろしく申し上げます。